

フリークーリング及び外気導入による空調の省エネルギー(E013)

【プロジェクト概要】

フリークーリング(電力を使用しない静止型顕熱交換器を使用した冷却システム)及び外気導入(冷たい外気を加湿して使用する冷却システム)等、自然エネルギーを利用した空調を導入することで、空調関連設備の電気使用・化石燃料消費に伴うCO2排出量を削減する

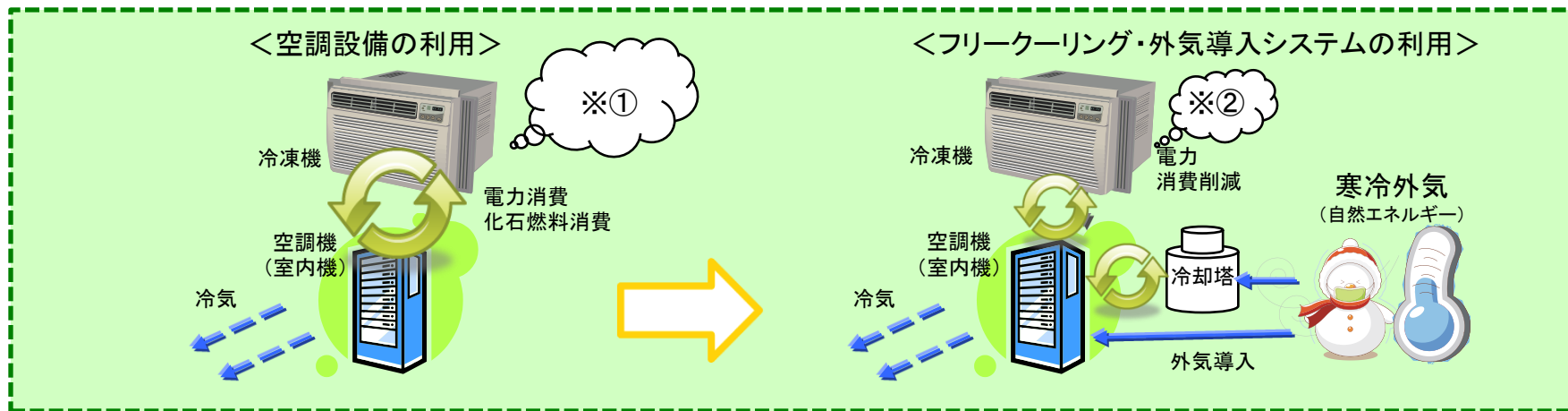
【プロジェクトの適格性基準】

条件1. 自然条件を利用し冷凍機等の電力使用量または化石燃料を削減する技術であること

条件2. ベースラインは、従来空調の継続利用とすること

条件3. プロジェクトの採算性がない、又は他の選択肢と比べて採算性が低いこと。例えば、投資回収年数が3年以上であること

排出削減量の算定で考慮する範囲



※【排出削減量算定のために必要なモニタリング項目】

①従来空調利用に伴う電力消費・化石燃料消費に伴う年間CO2排出

(直接計測の場合：フリークーリング等での冷却熱量・冷媒量、冷凍機での冷却熱量・冷媒量、空調の年間電力(または化石燃料)使用量)

(削減率データ利用の場合：当該地域の日次平均外気温、空調の日次電力(または化石燃料)使用量、外気温条件ごとの削減率(メーカー提供))

②フリークーリング・外気導入システムの利用実施後の、空調利用に伴う電力消費・化石燃料消費に伴う年間CO2排出

(空調の年間電力使用量、空調の年間化石燃料使用量、化石燃料単位発熱量(デフォルト値使用可))